

市長への提案 受付実績 提案・回答

令和3年10月から令和3年12月までに皆様からいただいた提案等は25件でした。

平成3年10月～令和3年12月受付分

区分	件数
福祉関係	2件
教育文化	6件
防災関係	2件
都市基盤	4件
職員・窓口	1件
環境衛生	2件
観光産業	3件
その他	5件
合計	25件

皆様からお寄せいただきました提案（匿名により回答していないものも含む）のうち、令和3年10月から12月までに文書で回答した案件を、個人情報の取扱いに十分留意した上でお知らせします。

ただし、企業等の営業活動、お礼や私的なもの、誹謗中傷、個人が特定できるものなど、公開することが適当でないと判断したものは除いています。

寄せられた皆様からの提案は、市長が目を通し、竹原市のより良いまちづくりに役立たせるようにしてまいります。

○防災関係

標題	賀茂川横断水道管（竹原中横）について
提案の趣旨	竹原中学校前の浄水場から竹原市内に配水している水道管が外観上、サビが橋の上からでも目視確認できますが、突然脱落して断水になるようなことはないでしょうか。
回答	ご指摘いただきました水道管につきましては、竹原中学校前にある成井浄水場から市内各地に配水するための水道管です。 令和3年10月3日に和歌山市で発生した水道橋の一部が崩落し断水する事故を受け、10月初旬にご指摘の水道管をはじめ、主要河川に設置している本市所有の水道管について緊急点検を行ったところ、異常は確認されませんでした。 水道は、住民の日常生活や社会経済活動に必要な不可欠なライフラインであることから、今後とも水道管をはじめとする水道施設を適切に維持管理し、安全・安心な水の安定供給に努めてまいります。
担当課	水道課

標題	令和3年7月豪雨災害について
提案の趣旨	竹原市としては今後どのような水害対策を計画されているのか被災者側から質問します。
回答	<p>平成30年7月豪雨では、強い雨が数日にわたって降り続き、市内各地で大きな土砂災害や浸水被害をもたらしました。そのため、まず被害の大きかった下野町大王地区において、浸水対策事業を進めており、ポンプ場整備工事に着手するところでした。</p> <p>しかし、今回の令和3年7月の大雨では、竹原地区で時間最大雨量が50mm/hを超えるなど、本市がこれまで経験したことのない雨量となり、再び大きな被害をもたらしました。</p> <p>この度の被災を受け、7月17日には、赤羽国土交通大臣が竹原市の町並み保存地区周辺の被災状況を視察するなど、広島県、竹原市だけでなく、国も復旧に向けて連携し、これまで以上にスピード感を持って治水対策に取り組んでいます。</p> <p>現在、広島県において、今回の被災メカニズムの分析や、河川改修・浸水対策など本川流域の総合的な治水対策について、検討を進めているところです。</p> <p>市民の皆様には、平成30年7月豪雨災害からわずか3年で同じような被災となり、大変な御心労と、御心配をおかけしております。</p> <p>本市においても、近年の激甚化する自然災害対策への重要性和、その早期対応の必要性について、改めて認識したところであり、より一層スピード感を持って自然災害対策に取り組み、市民の皆様が、住んで良かったと思えるまちづくりを目指してまいります。</p>
担当課	建設課

○都市基盤

標題	浸水対策について
提案の趣旨	町並み保存地区の浸水対策をしてほしい
回答	<p>本川左岸にある町並み保存地区は、平成30年7月豪雨でも大きな浸水被害があり、当時は国からの激甚災害の指定を受けて自衛隊や多くの災害ボランティアの皆様へ支援を頂くなどし、復旧や復興に取り組んでまいりました。あわせて、防災・減災の取組として、市街地を浸水被害から守るため、本川左岸上部の、下野町大王地区の浸水対策事業を進めており、間もなくポンプ場整備工事に着手するところでした。</p> <p>この度の令和3年7月7日から8日にかけての大雨では、竹原地区で時間50mmを超える雨量となり、時間最大の雨量としては本市では過去最大の規模となりました。</p> <p>今回の被災を受け、7月17日には、赤羽国土交通大臣に町並み保存地区周辺の被災地を視察いただき、国、広島県、竹原市が復旧に向けて連携し、これまで以上にスピード感を持って本川流域の治水対策に取り組んでまいります。</p> <p>市民の皆様には、平成30年7月豪雨災害からわずか3年で同じような被災となり、大変な御心労と、御心配をおかけしており</p>

	<p>ます。</p> <p>本市においても、近年の激甚化する自然災害対策への重要性和、その早期対応の必要性について、改めて認識したところであり、より一層スピード感を持って自然災害対策に取り組み、市民の皆様が、住んで良かったと思えるまちづくりを目指してまいります。</p>
担当課	建設課

標題	畷小路の水路蓋について
提案の趣旨	<p>畷小路の頼宅前付近の鉄板製の水路蓋は竹原の古い町並みにあまりにもマッチしていないように思います。自家用車で通るたびにうるさいし、今にも外れそうで恐いです。なんとかならないでしょうか。</p>
回答	<p>ご意見をいただいた箇所については、老朽化したコンクリート蓋と鉄板蓋を新しいコンクリート蓋に取り換える修繕工事を令和3年9月に業者へ依頼しております。</p> <p>10月中の工事完了に向けて取り組んでおりましたが、資材の生産の遅れにより、工事の着工が遅れ、12月中旬頃までの完成を予定しております。</p> <p>ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。</p> <p>※令和4年4月1日時点で8割が完成しており、残りを今年度中に完成させる予定です。</p>
担当課	建設課

○環境衛生

標題	竹原の美味しい水を後世に残していくことについて
提案の趣旨	<p>竹原市の美味しい水を後世に残していくために、条例の策定、飲料水の工場の誘致、「竹原の美味しい水」として販売するのはどうでしょうか。</p>
回答	<p>1 汚水を流す工場を作らせないよう条例を定めることについて</p> <p>廃棄物処理施設の設置は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」によって、その構造基準等が定められ、法律の基準を満たす施設でなければ設置許可がなされません。許可後においても排水基準を遵守していく義務があり、その他の工場等についても法令で基準が定められているものについては、その基準を遵守していく義務があることから、まずは事業所が各種法令を遵守するとともに、県等の関係機関と連携して啓発、指導等を行っていくことで、水質をはじめとした環境の保全に努めてまいります。</p> <p>2 後世に美味しい水を残していくことについて</p> <p>飲料水の工場も含め、企業誘致の推進につきましては、広島県などの関係機関と連携して、竹原工業・流通団地をはじめ、市内への誘致を進めています。</p>

	<p>頂いた御意見も参考にさせていただきながら、引き続き、企業に関する情報の収集及び本市の魅力や助成制度等の情報発信を積極的に行い、企業誘致の推進に取り組んでまいります。</p> <p>「竹原の美味しい水」の販売につきましては、これまで市制 50 周年記念事業として本市の水道水のおいしさを PR するため、500 ミリリットルの「竹原の水」として製造し、イベントで無料配布するなど啓発活動を行ってまいりましたが、現在は製造していません。</p> <p>これからは、ゴミや CO2 を削減する環境保護の観点から、マイボトル等に水道水を入れてお出かけする、公共施設にある水道水を利用することなどにより、本市の水のおいしさを実感していただければと考えておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。</p>
担当課	市民課，産業振興課，水道課

○観光産業

標題	竹原市のデジタル商品券
提案の趣旨	<p>ネットで竹原市のデジタル商品券のことを知り、申し込みを行ったところ既に完売だそうです。わずか 10 日で販売完了と言うのはあまりにも早すぎると思います。もう少し枠を広げて多くの人に、商品券が行き届くことを希望します。竹原市が発展する為にも、よろしくお願ひします</p>
回答	<p>この度は、竹原市デジタル商品券の申込をいただきありがとうございます。しかしながら、完売のため商品券の購入が叶わなかったとのことで、ご迷惑をおかけしました。</p> <p>本市では、新型コロナウイルス感染症により、影響を受けた事業者への支援として、これまで、プレミアム商品券の発行や電子マネーを活用した消費喚起を行ってまいりました。</p> <p>今回のデジタル商品券は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内の経済活動の回復と、市外からの観光客の誘客促進を目的として実施しました。</p> <p>限られた予算ではありますが、なるべく多くの方がご購入いただけるよう 8,000 セットを販売したところ予想以上の反響があり完売となりました。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響を受けた事業者支援をはじめ、減少している観光客の誘客に取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力の程、よろしくお願ひします。</p>
担当課	産業振興課